

2 創造的で強靱な産業の発展を支援する

■ 2-1 産業の生産性と県民所得の向上を図る

◇ 成長産業の創出・振興

環境・エネルギー、IT、食品分野等の成長期待分野への新規参入や事業拡大、生産性や付加価値の高い農林業等を推進します。

【成長期待分野への新規参入・事業拡大・集積の促進】

(新) EVシフト・海外展開の促進 2294万9千円

〈産業労働部 No.2 EVシフト・海外展開支援事業〉

世界的なEVシフトの潮流を踏まえ、グローバルサプライチェーンへの参入と新たなEV関連産業の創出による「EV関連産業クラスター」の形成を促進するため、県内自動車関連産業のEVシフト・海外展開を支援

- ・「信州産電動モビリティ」のビジネスモデルを県内企業等とともに検討
- ・EVの製造に不可欠な「キーパーツ」を調査・分析し、県内企業がシェアを獲得できる部品を探索
- ・海外展示会出展支援と市場動向調査を実施、マッチング機会創出支援員を配置

〔全てのEVのキーパーツに県内企業の製品を使用(2027年度)〕

ゼロカーボン関連技術の開発促進 8431万1千円(7934万4千円)

〈産業労働部 No.1 ゼロカーボン関連技術開発等促進事業〉

グローバルメーカーに選ばれる「環境対応型企业」への転換を促進するため、県内企業による関連技術の開発や、製品のライフサイクルにおけるカーボン排出量の可視化・削減等を支援

〔技術開発支援件数:4件(2023年度)〕

〔カーボン排出量可視化支援件数:50件(2023年度)〕

信州ITバレー構想の推進 9192万円(8073万2千円)

〈産業労働部 No.3 信州ITバレー構想推進事業〉

産学官が連携しIT人材・IT産業の集積を目指す「信州ITバレー構想」の実現に向け加速するため、IT企業等によるプロジェクト形成への支援や国内外への情報発信等を実施

(新) ・プロジェクト共創ネットワークの活動やユーザー企業とのマッチングを支援

〔IT産業の1事業者当たりの売上高:1,904万円(2018年)→2,000万円(2025年)〕

〔AI・IoT等導入率:26.5%(2021年度)→50.0%(2023年度)〕

信州医療機器の事業化促進 6792万6千円(6792万6千円)

〈産業労働部 No.4 信州医療機器事業化促進・グローバル展開事業〉

本県の強みである材料・精密加工技術等を活かし、県内企業の医療機器産業への参入を促進するため、信州大学等と連携し、医療機器の開発や開発人材の育成等を支援

〔事業化開発支援件数:60件(2023年度)〕

航空機産業の振興 4519万9千円(4405万3千円)

〈産業労働部 No.5 航空機産業振興事業〉

コロナ禍からの航空機需要の回復期に向け、加速する航空機の電動化等の環境変化への対応やサプライチェーンの構築に向けた新しい技術分野への挑戦を支援

〔航空機産業に取り組む企業数:100社(2025年度)〕

ICT企業・高度人材等の集積 18億7202万7千円 (18億5544万7千円)

(債務負担行為 12億7600万円)

〈産業労働部 No.27 産業集積強化推進事業〉

県内経済の持続的な発展を図るため、生産性の高い企業やICT企業、2050ゼロカーボンに取り組む企業の集積を推進するとともに、県内への本社等の移転を通じ、経営の中枢に関わる高度な人材の確保を促進

(新) ・オンライン企業誘致セミナーを開催

[企業立地件数:20件(2023年)]

【起業・スタートアップの増加・育成の推進】

創業・承継支援の強化 1億1674万2千円 (1億808万5千円) 〈産業労働部 No.8 創業・承継支援強化事業〉

新たな価値を創造するスタートアップ企業等の創業を促進するため、企業、大学関係者等の交流の中から新たなビジネスアイデアを実現できる環境(スタートアップ・エコシステム)を整備

(拡) ・創業支援機関同士の情報交換等により地域の産学官金連携を促進

(新) ・女性の起業を促進するための専門窓口を創設、コミュニティづくりを支援、情報発信を充実

[信州スタートアップステーションの支援を受けて創業した件数:50件(2023年度)]

[創業支援金を活用した創業件数:30件(2023年度)]

【産業としての農林業の振興】

くだもの王国づくりの推進 4億3242万6千円 (3億344万8千円) 〈農政部 No.8 くだもの王国づくり推進事業〉

果樹生産者の稼ぐ力の向上と産地の発展を図るため、経営改善による安定生産や品質向上等への取組を支援し、生産力を強化

(新) ・種無し・皮ごとぶどう栽培管理技術の習得に向けた支援と情報発信を実施

(拡) ・りんご高密度植栽培やぶどう「クイーンルージュ®」の導入等を促進するため、現地推進チームを設置

(拡) ・樹園地継承の促進に向け、新たな啓発活動を追加

[果実産出額の増加:870億円(2021年度)→900億円(2023年度)]

県産材の安定供給・流通体制の強化 700万円 (662万円)

〈林務部 No.5 ウッドもつとつなぐ事業〉

社会情勢に左右されにくい木材流通体制を構築し、県産材製品の需要拡大を図るため、「信州ウッドコーディネーター」を配置し、木材加工事業者における水平連携や、川上から川下までの垂直連携をサポートするとともに、県産材製品のPRや販路開拓を実施

(拡) ・信州ウッドコーディネーターを増員(3名→6名)

[水平・垂直連携体制の構築数:2件(2023年度)]

(新) 主伐・再造林の加速化 9360万円

〈林務部 No.1 信州の森林づくり事業〉

主伐・再造林の加速化を図るため、森林所有者の費用負担が大きい主伐後の再造林や初期保育作業等に係る経費を助成

[再造林面積:260ha(2023年度)]

◇ 稼ぐ力とブランド力の向上

信州の魅力を国内外に継続的・効果的に発信し、多くの分野で信州ファンを創造します。

県産品の稼ぐ力の向上支援 6343万3千円（7551万5千円）〈産業労働部 No.10 県産品国内販路開拓事業〉

本県の稼ぐ力を向上するため、県産品マッチングサイトを活用した商談機会の確保や著名シェフ等を招へいた現地視察・商談交流会の開催等を実施

〔県産品マッチングサイトへの登録者数:2,400社以上(2023年度末)〕

県産品の海外展開への支援 2378万7千円（2748万5千円）

〈産業労働部 No.12 県産品海外販路開拓事業〉

県産品の本格的な海外展開を推進するため、輸出関連の展示商談会への出展や海外バイヤー商談会の開催等を実施

〔海外輸出に取り組む県内事業者数:190社以上(2023年度末)〕

(新) NAGANO農産物の輸出拡大 1884万6千円 〈農政部 No.10 海外で稼ぐNAGANO農産物輸出拡大事業〉

県産農畜産物の輸出拡大を戦略的に進めるため、本県の強みである「ぶどう（クイーンルージュ®）」「コメ」「花き」を重点品目として、流通事業者と連携した販売促進活動を展開

- ・台湾の現地高級百貨店等でぶどう（クイーンルージュ®、ぶどう三姉妹®）やコメの販売を促進
- ・コメの輸出入事業者の産地招へいやネット広告によるPR活動を実施
- ・国際園芸博覧会（ドーハ）への出品に併せ、バイヤーに対して切り花のPR活動を実施

〔県産農畜産物の輸出額:17億6,533万円(2021年度)→22億円(2023年度)〕

(新)「信州ブランド」の共創による発信体制の構築 780万円

〈産業労働部 No.15 「信州ブランド」共創・発信強化事業〉

「信州ブランド」の価値を国内外に広め、信州ファンを更に獲得するため、市町村や民間事業者等との共創によるブランド発信体制を構築

- ・「信州ブランド」の発信指針等を作成
- ・ブランド訴求に資するコンテンツを民間等と共有し、活用するためのプラットフォームを構築

〔プラットフォームを活用した情報発信への参画事業者数:150者以上(2023年度)〕

◇ 産業人材の育成・確保

産業構造の変化に対応するための知識やスキルをいつでも学ぶことができる環境の整備を進め、産業界が求める人材を育成・確保します。

(新) 企業との連携による奨学金返還支援制度の創設 1338万5千円

〈産業労働部 No.31 奨学金返還支援制度導入企業サポート事業〉

学生から選ばれる企業を増やし、人口減少時代においても若者の県内就職・定着を促進するため、従業員への奨学金返還支援制度を設ける県内企業を支援

- ・従業員への奨学金返還支援制度を設ける県内企業に対し負担額の一部を助成
- ・本制度を活用して奨学金返還支援制度を実施している企業を学生に周知

〔奨学金返還支援制度利用者数:100名(2023年度)〕

リスキリング・リカレントの環境整備 2億5203万1千円(2億4052万7千円)

〈産業労働部 No.16 産業人材育成支援事業〉

産業人材を育成・確保する上での様々な課題に対応するため、産学官関係者が連携し、県民のライフステージに応じたキャリア教育や学び直しの環境整備等を実施

- (新) ・育児や介護等の事情がある方も受講しやすい「短期間・短時間のオンライン型職業訓練」を実施し、デジタルスキルの学び直し(リスキリング)を支援

〔オンライン型職業訓練によるデジタル人材の育成人数:120人(2023年度)〕

女性デジタル人材の育成 1492万2千円〈産業労働部 女性デジタル人材育成インターンシップ事業(11月補正)〉

離職している女性等の就業を促進するため、柔軟な働き方ができるデジタル分野でのインターンシップ(OJT)型職業訓練を実施

農業を支える担い手の育成・確保 14億271万9千円(13億549万5千円)

〈農政部 No.6 次代の農業を支える担い手支援事業〉

新規就農を一層推進するため、女性農業者や若手農家等で構成するコンソーシアムを形成するとともに、農業団体や教育機関等と連携し、就農を目指す中高生等の支援を実施

- (新) ・女性農業者や若手農家、農大生などで構成する「クリエイティブ農業コンソーシアム(仮称)」を形成し、新たな支援策を検討
- (拡) ・農業法人での高校生の就業体験を支援メニューに追加
- (拡) ・福祉事業者と連携し、新たに農福マッチング相談会を開催

〔新規就農者数(49歳以下):215人/年(2023年度)〕

〔中核的経営体数:10,044経営体(2021年度)→10,300経営体(2023年度)〕

農業リーダーの育成 1065万8千円(1317万円)

〈農政部 No.5 農業リーダー育成事業〉

地域の営農活動や農業生産の中心となる農業リーダーを育成するとともに、農業生産を維持するため、売上額10億円以上を目指す法人向けの「信州農業エグゼクティブMBA研修」の開催や、研修修了生に対するフォローアップを実施

〔信州農業エグゼクティブMBA研修:10名(2023年度)〕

信州の森林で働く人材の育成・確保 1億478万7千円(4768万6千円)

〈林務部 No.3 信州の森林で働く人材確保推進事業〉

〈林務部 No.4 多様な林業の担い手確保育成事業〉

主伐・再造林の推進など森林整備を支える林業人材の育成・確保を図るため、裾野の拡大から就職、就業後の定着促進まで総合的な支援策を講じることにより、全国トップクラスの働きやすい林業県づくりを推進

- (新) ・県外から新たに県内の林業に従事する移住者や、他産業からの転職者に対して移住・転職経費を助成するとともに、先輩就業者による相談窓口を設置
- (新) ・多様な人材の林業への就業を促進するため、兼業者の雇用や職場環境改善等を行う林業事業体を支援

〔新規林業就業者数:120人(2023年度)〕

建設産業を支える担い手の育成・確保 250万1千円(250万1千円)

〈建設部 No.17 建設産業の次世代を担う人づくり推進事業〉

産学官の連携強化により、建設産業の次世代を担う人材の確保・育成を推進するため、建設系学科の高校生等が測量・設計・工事のプロセスを自ら実践する学びのフィールドの提供や、資格取得を支援する準備講座を実施

〔建設系学科高校生の建設産業の就職割合:75%(2023年度)〕

（新）観光人材の確保 460万円

〈観光部 No.6 観光地域パッケージ型インターンシップ促進事業〉

コロナ禍からの観光需要の回復にあたり、人手が不足している観光産業の人材確保を後押しするため、学生や移住者等に対して観光業で働く魅力を発信

- ・観光業に興味のある学生等に対し、宿泊、DMO、アクティビティガイド、交通等、地域内で様々な業種の体験ができるパッケージ型のインターンシップを実施

〔県内観光地へのインターンシップ参加者数:100人(2023年度)〕

DX人材の育成・誘致 914万9千円 (914万9千円)

〈企画振興部 No.7 DX人材育成・誘致事業〉

多様なDX人材を育成・誘致するため、セミナーやコンテストイベント等を開催し、候補となる人材が互いに連携し刺激を与え合う機会を創出するとともに、その取組を全国に発信

〔成果発表イベント参加者数:500人(2023年度)〕

■ 2-2 人や社会に配慮した環境再生的で分配的な経済を実現する

◇ 循環経済への転換の挑戦

県民の考えや行動を大量生産・大量消費から循環利用に転換し、生産・流通・使用・再資源化・廃棄といったライフサイクル全体での資源循環の高度化を進めます。

（新）サステナブルな食の推進 1126万円

〈産業労働部 No.21 グローカルな「NAGANOの食」価値向上推進事業〉

健康志向や安全性など世界基準に適合したサステナブルな食に対する需要に対応し、県産食品の海外展開を図るため、フードテックの取組を推進するとともに、県産農産物等を活用した食品開発等を支援

- ・フードテックの取組を推進する専門コーディネーターを配置し、伴走支援を実施
- ・県産農産物や地域資源等を活用した食品開発の研究を支援
- ・相手国ニーズ等の把握による輸出向け食品の開発を支援

〔フードテックに係る食品の開発支援数:10件(2023年度)〕

エシカル消費の推進 423万円 (419万円)

〈県民文化部 No.2 消費生活安定向上事業の一部〉

人、社会、環境、地域等に配慮した思いやりのある消費行動を推進するため、事業者との協働による県民のエシカル消費の実践につながる取組を実施するとともに、エシカル消費の情報発信を充実

（新）・企業からの寄付金を活用した啓発物品を作成し、小学校での出前講座等で活用

〔エシカル消費を理解している人の割合:12.8%(2022年度)→18.2%(2023年度)〕

◇ 地域内経済循環の推進

食料・エネルギー等の地産地消・地消地産を進め、地域外から獲得した資金を地域内で循環させることで、地域に雇用と所得が持続的に生み出される経済構造を構築します。

（新）「しあわせバイ信州運動」の推進 390万3千円

〈産業労働部 No.22 「しあわせバイ信州運動」強化事業〉

県内製品の消費拡大に向けた意識の醸成、行動変容を促すため、事業者や大学生等と連携した「しあわせバイ信州運動」を全県で展開

- ・生産者、流通・小売事業者、消費者等による懇話会を開催
- ・スーパー等と連携した全県統一キャンペーン、農産物直売コーナーの拡充を実施
- ・県内大学生による効果的な県産品PRに関する研究・提案を支援

〔日々の消費行動における地産地消の実践:46.5%(2022年度)→50.0%(2024年度)〕

(新)「デジタル地域通貨」の普及に向けた研究 331万5千円 <産業労働部 No.23 デジタル地域通貨研究事業>

地域内経済循環を促進する手段として期待される「デジタル地域通貨」について、導入効果や普及方策等を研究

- ・導入による地域経済等への波及効果を分析
- ・有識者や市町村等との先進事例を検証する研究会を開催

[デジタル地域通貨導入による経済効果等の可視化]

県産材の安定供給・流通体制の強化 700万円(662万円) <林務部 No.5 ウッドもつとつなぐ事業>

社会情勢に左右されにくい木材流通体制を構築し、県産材製品の需要拡大を図るため、「信州ウッドコーディネーター」を配置し、木材加工事業者における水平連携や、川上から川下までの垂直連携をサポートするとともに、県産材製品のPRや販路開拓を実施

(拡) ・信州ウッドコーディネーターを増員(3名→6名)

[水平・垂直連携体制の構築数:2件(2023年度)]

「ウッドチェンジ」の普及促進 1200万円(1000万円) <林務部 No.6 ウッドチェンジ普及促進支援事業>

生活用品等をプラスチック・金属製品から木質製品へ転換する「ウッドチェンジ」の取組を推進するため、県産材製品の魅力向上や販路開拓等を行う事業者を支援

[支援件数:6件(2023年度)]

食の地域内循環の推進 1406万2千円(723万1千円) <農政部 No.11 食の地域内循環推進事業>

県産農産物等の地域内利用を促進するため、学校給食での有機農産物等の活用を推進するとともに、信州の食を生かした観光地域づくりの取組等を支援

(拡) ・新たにコーディネーターの派遣による支援を追加し、学校給食での有機農産物等の活用と食育活動を推進

(拡) ・県オリジナル食材の活用や食農体験等を行う観光・商工団体等への支援を拡大

[売上高1億円以上の直売所売上総額:176億円(2021年度)→178億円(2023年度)]

■ 2-3 地域に根差した産業を活性化させる

サービス産業や加工食品産業、伝統的工芸品産業など、身近な暮らしを支える産業の活力維持と発展を支援します。

伝統的工芸品産業の活性化 2285万5千円(1967万7千円) <産業労働部 No.25 伝統的工芸品産業振興事業>

伝統的工芸品産業の活性化を図るため、後継者の確保や県内外への販路開拓・魅力発信、リブランディング・他業種との連携促進による新たな価値の創出を支援

(新) ・県内企業等と伝統的工芸品事業者が連携して取り組む新規ビジネス創出等を支援

信州地酒の振興 3560万7千円(3312万6千円) <産業労働部 No.24 信州地酒振興事業>

信州地酒産業の活性化を図るため、純米酒などの醸造技術向上、ワイン・シードルの新規参入希望者や若手醸造家等の技術向上・経営安定に向けた支援を行うとともに、県産酒類をPRするイベントを開催

[全国新酒鑑評会での純米酒入賞数:13場(2021年度)→18場(2023年度)]

[日本ワインコンクール入賞数:70品(2022年度)→75品(2023年度)]